

Press Release

報道関係者各位

平成 21 年 12 月 9 日
株式会社ユビテック
(大証 HC 6662)

ユビテック、エコデザイン2009国際シンポジウムにて「ITによる省エネ」成果を発表

株式会社ユビテック（東京都品川区、代表取締役社長：荻野 司、以下ユビテック）は、本日、エコデザイン学会連合^{*1}及び産業技術総合研究所^{*2}主催のエコデザイン2009国際シンポジウムにおいて、「中小規模ビルの省エネとスマート管理に関する事例研究（Case Study of Energy Saving and Smart Management for the Small and Mid-size Offices）」と題する英文論文を発表しました。

エコデザイン国際シンポジウムは、専門や事業を異にする国内外の研究者、技術者、経営者などがエコデザイン（製品・企業・社会の環境配慮設計）を目的に広く結集し、研究開発成果、新技術、実践事例を持ち寄り議論することで、従来の個別領域を対象とした会議では得ることができない、目指すべき社会イメージを肌で感じ、今後の企業活動や研究開発の足がかりにすることを目的としています。本年は、北海道札幌市において2009年12月7日（月）～9日（水）に開催され「社会システムのエコデザイン」、「環境配慮ビジネス」、そして環境問題を引き起こす根本的要因である「人・社会に潜む課題」などのテーマに焦点を当て講演が行われました。詳細は以下URLをご参照下さい。

<http://www.mstc.or.jp/imf/ed/Japanese%20index.html>

ユビテックは、ITと設備情報を統合できる環境ソリューションBX-Office^{*3}を活用し、照明用人感センサをマルチ活用した自動設備制御と稼働状況の見える化について実証実験を行っています。

今回ユビテックが発表した論文は、ユビテックが参画するグリーン東大工学部プロジェクト^{*4}の東京大学本郷地区の工学部新2号館とユビテック本社オフィス内の2箇所で行った実証実験の事例から、現状を「見える化」し実態を踏まえた上で、「ITによる省エネ」の削減効果と今後の課題、その解決方法について論じたものです。

本論文は以下URLにてご覧いただけます。

論文：<http://www.ubiteq.co.jp/event/pdf/20091209-ecodesign-e.pdf>

和訳：<http://www.ubiteq.co.jp/event/pdf/20091209-ecodesign-j.pdf>

概要は以下の通りです。

- ・ BX-Officeを中小ビルやテナントオフィスに導入し、10%以上の省エネを実現できる可能性を確認
- ・ 利用実態の「見える化」に成功。消費電力のムダ利用（削減が期待できる利用）が利用時間合計に対し、会議室は11%、講義室は49%と確認。
- ・ BX-Officeが複数ベンダーのシステムを統合して取得した様々な情報を重ね合わせることで、見えなかった課題を浮き彫りにし、新しい省エネ対応策の検討が可能に。
- ・ 管理の自動化に伴い、人による管理作業の削減（省力化・コスト削減）効果を確認。
- ・ 今後は更なる省エネを促進する機能や制御ロジック（運用方法）の検討を進め実証実験に取り組む。

今後もユビテックは、BX-Officeを活用した設備とITシステムの連携制御に基づく実証実験を進め、得られた成果を当社の「BE GREEN」環境ソリューションに活用し、「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現してまいります。

*1 エコデザイン学会連合 (<http://www.ecodenet.com/unioneco/index.html>)

エコデザイン学会連合は、科学技術を基盤に、環境に関する学術活動を行い、環境に関する情報を発信するとともに、これを共有する学協会および関連団体が構成するネットワーク組織です。特に、日本の特徴ある環境技術やエコデザインコンセプトを海外に発信し、国際的な連携を息長く続けていくため、特定の分野・学会に偏ることなく、また産業界とも密接に連携し、エコデザインジャパンシンポジウムおよびエコデザイン国際シンポジウムをそれぞれ隔年で主宰しています。

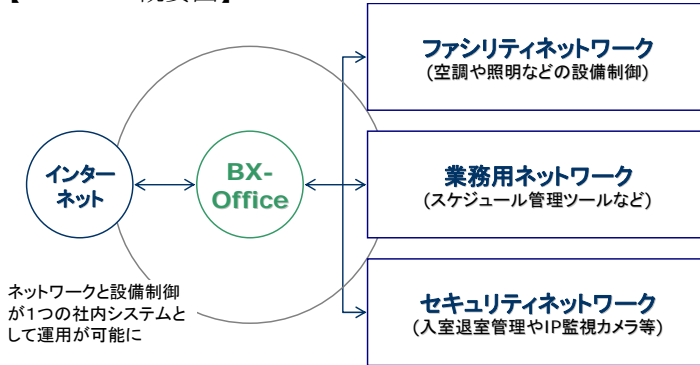
*2 産業技術総合研究所 (<http://www.aist.go.jp>)

独立行政法人産業技術総合研究所（産総研）は、産業技術の幅広い分野におけるさまざまな技術開発を総合的に行っている、日本最大級の研究機関です。

*3 BX-Office

ユビテックの開発した「BE GREEN」環境ソリューションの代表的なプロダクトで、インターネットと設備制御の統合ゲートウェイです。プラットフォームにシスコシステムズ合同会社製ルータ「Cisco ISRシリーズ(Cisco AXP内蔵)」を選定しています。本製品により、オフィスの照明・空調制御や監視設備(警備システムやセキュリティシステム等)といった複数の設備制御システムとの連携が可能となり、BX-Officeを1台設置するだけで、ネットワークと設備制御が1つの社内システムとして運用できるようになります。

【BX-Office概要図】



【BX-Office設置状態】



*4 グリーン東大工学部プロジェクト (<http://www.gutp.jp/>)

国立大学法人東京大学が、IPv6 普及・高度化推進協議会と協力して、2008年6月9日に発足しました。東京大学本郷地区の工学部新2号館（2005年竣工 地上12階 総合研究教育棟）をモデル的な舞台として、個別に運用管理されていた施設の設備制御管理システムを相互接続し、投入・配送・消費エネルギーの状況を収集・可視化し、ITによる省エネとIT環境自身の省エネの両立を実証しています。設立発起人（詳細は、「発起人・組織リスト：<http://www.gutp.jp/list/>」を参照）を中心に、技術規格標準化関連団体、建設会社、建設設計事務所、ハードウェア・ソフトウェアベンダ、インテグレータ、通信事業者などファシリティの企画・設計・構築・運用に関連する関連組織からの参加の下、データ取得方法・表現形式などの標準化やファシリティの運用管理効率の向上などをはじめとして、省エネ実現のモデルケース確立などに取り組んでいます。

代表は東京大学大学院情報理工学系研究科の江崎浩教授が務めています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課
電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561

以上